



激変する生態系から市民生活を 守るために 小野寺貴

小野寺貴男(蒼倫維新)

- 公共施設マネジメントにおける、廃校とな
設、保育所、学校給
一の今後について
○若い世代の市政へ
増やすには。

- 公共施設マネジメント計画における、廃校となる学校施設、保育所、学校給食センターの今後について
- 若い世代の市政への参画を増やすには。

課題としては、気候変動や生態系の変化などにより、動植物に関するトラブルも変化してきている感じであります。引き続き、他自治体の対応なども参考にしながら、生活環境の保全に努めていく。

答　田木化する雑木　特にアカメガシワは、空き家等で一旦生育すると、枝木が伸びて道路に覆いかぶさるほどに巨大化してしまう。現状の被害対策、課題は。

雑草やアカメガシワ等の雑木の相談があつた場合、市職員が現場の確認を行つており、雑草、雑木が繁茂していて隣家の敷地に越境するなど、近隣住民の生活環境に悪影響

答 文部省
雜草やアーチ



行田市の未来を見据えて

小林淳一(令和研究会)

答 災害時にも高齢者や乳幼児などが安心して過ごせる環境づくりに取り組んでいます。空調設備を進めており、柔道場・剣道場も含めた快適な避難環境の整備に向け、今後具体的な検討を進めていく。

答　来場者や売上の大幅増につながり、SNSでも話題になった。今後は様々な企画も検討し、スタンプラリーや体験型企画で市内回遊と地域経済の活性化を目指す。

問題　課題への対策は何か。
答　子育て支援や教育の充実を通じて、移住・定住を促進し住み続けたいまちを目指して
いる。

問 行田市の人口動態はどう変化しているか。

多文化共生を目指して/ AIを活用する英語教育について

岩崎 彰(蒼倫維新)



でもA-Iと会話ができる。子どもたちの発音は録音され、A-Iが分析・判定、数値化して評価が即座に本人へ返るため、自身の英語力の把握、個別最適な学びと学習意欲の向上に結び付くと考えている。

イベントの企画や実施等運営のサポートを行っている。補助金は、行田市市民活動や、気運援助成金制度がある。

問 どの地域の団体はあるのか。
答 ボランティア団体行田には「ほんじ教室」があり、外国人を対象に、日本語学習を通して文化・習慣の取得支援を行つた市からのサポートにはど

問 市民に占める外国人の人数と比率について。

答 8月1日現在2484人で、比率は3.2%である。

共生社会を築くための日